



まちの話題



花輪高校スキー部 インターハイ優勝を 報告

3月24日に、花輪高等学校のスキー部が児玉市長を訪れ、全日本高等学校総合体育大会（インターハイ）の優勝を報告しました。

木村航大こうだいさんは、男子ノルディックコンバインド競技で優勝し、畠山香恋かづねさんは、女子クロスカントリー10km競技で優勝を果たしました。

児玉市長は「これからも鹿角のスキーを盛り上げるため、頑張ってもらいたい」と今後の活躍を期待しました。



市内団体が防犯グッズなどを贈呈

3月26日に、市内3団体が畠山教育長を訪れ、それぞれ防犯グッズなどを贈呈しました。

この活動は毎年行われており、鹿角地区遊技場組合からは防犯ブザー、東日本高速道路株式会社十和田管理事務所からは反射材、一般社団法人鹿角交通協会からは交通安全グッズが贈られました。

畠山教育長は「いただいた物品は、早速市内小学校の入学児童に配布し、活用させていただきます」と感謝を述べました。



三菱自動車と災害協 定を締結

3月26日に、三菱自動車工業株式会社と秋田三菱自動車販売株式会社が、市と災害協定を締結しました。

本協定は、災害時に停電が発生した際、電動自動車などを無償で貸与し、避難所などで給電に役立てるといったものです。

協定締結後には、市役所駐車場でデモンストレーションが行われ、三菱自動車のプラグインハイブリッド電気自動車「アウトランダーPHEV」で照明やテレビ、電気ストーブなどに給電しました。また、給電は車両1台で、およそ10時間の供給性能があることが紹介されました。

児玉市長は「災害対応力が強化され、安心安全なまちづくりにつながった」と感謝を述べました。



柴平小学校入学式・開校式

4月7日に、花輪北小学校と平元小学校が統合し、新たに誕生した「柴平小学校」で最初の入学式が行われました。式が始まると、在校生や保護者が見守る中、31人の入学児童が緊張の面持ちで入場しました。その後、体育館のステージでは一人ひとりの名前が呼ばれ、大きな声で元気に返事をしていました。

虻川校長は「1年生の皆さんは、毎日学校に元気に登校すること、元気に挨拶をすることを頑張ってください」と話し、新入生を歓迎しました。

また、4月8日には柴平小学校の開校式が行われました。開校式では、新校旗を児玉市長から虻川校長、そして児童代表の山本明日香あすかさんに手渡されました。

児玉市長は「素晴らしい学校で柴平小学校の新たな歴史を築いてほしい」と児童を激励しました。

式の最後には、花輪第二中学校から引き継いだ校歌が歌われ、柴平小学校の新しい歴史がスタートしました。



交通安全を呼びかけ ちびっこ警官が出勤

4月8日に、花輪定期市日でちびっこ警官による街頭キャンペーンが行われました。

この活動は、春の全国交通安全運動の一環として行われ、警官の制服に身を包んだ花輪さくら保育園の園児が、交通安全に関するチラシを来場者に配りました。

「交通安全に気をつけてください」と呼び掛けながらチラシを配る園児によって、来場者の交通安全に対する意識が高まりました。



八幡平アスピーテラ イン開通式

4月15日に、八幡平ビジターセンターで八幡平アスピーテライン開通式が行われました。冬期は大雪のため閉鎖されていた八幡平アスピーテラインは、除雪作業が行われ、およそ27kmにも及ぶ雪の回廊となつています。

阿部副市長は「今年もたくさんの方々から八幡平に足を運んでいただけることを願っています」と開通を祝いました。この日はあいにくの天候となり、開通は翌日以降に持ち越されました。



百歳長寿を祝う 畠山ミツエさん

畠山ミツエさん（大正10年・八幡平生まれ）が4月1日に、満100歳の誕生日を迎えたことから、児玉市長から顕彰状と祝い金が贈られました。

畠山さんは、「ゆつたりと時間を過ごすこと」が長生きの秘訣と話していました。

児玉市長は「はきはきされていて、とても100歳には見えない。これからも末永く元気でいてください」と畠山さんの長寿を祝いました。

